

ご挨拶

会員の皆様 コロナ禍の真最中ですがいかがお過ごしですか。4月25日現在練馬区では189人の感染者と報道されています。12月下旬都に提出された質問書に対し、4月に入り回答が送られて来ました。庁舎内で5人以上の会議制限や在宅勤務が奨励された結果、回答作業が遅れた模様です。回答内容にはただ残念の一言です。踏み込んだ説明はなく、例によってお役所的な文言に終始しています。特に概略設計の中身に全く触れていません。勿論交通量予測がポイントの中心であることは想像に難くはありませんが、大型4車線の適、不適がどう論議されているのか全く感じ取れません。私たちの生活する街の死命を制する重大事です。

谷中の街を貫通する道路計画に対し、まちの歴史や佇まいを守ろうとする住民運動や最終的には区長も賛同して建設は中止されました。コロナ禍が落ち着いた後、都と再度話し合いをする予定です。この結果を踏まえ、練馬区長にタテ3について質問書を出したいと思えます。前川区長は4年前副区長を伴いタテ3が貫通する廣徳寺を訪ね、貴重なお寺と認識し、亡きご住職にかけがえのないお寺と発言されました。谷中の例も踏まえ街の有り様を問います。

小池都知事はコロナ対策として都の財政調整基金から8000億円を緊急支出します。財調の残りは850億円弱です。今後1～2年は税収が大きく落ち込むでしょう。来年はオリンピックに向け更なる支出が予定されます。財調の急な積み立ても復活させる筈です。回答で36号線（1970m・道幅40～50m）の工事予算が470億円とされました。タテ3は2780m、道幅27～42mです。タテ3は路線距離の長さに加えと路線価が高いゾーンです。膨大な金額となるでしょう。今後都の財政の見直しが急速に進むと予想されます。不要不急な大型道路は真に見直しの事態です。

果ての見えない自粛が続きますが、お身体にお気を付けの上お元気でお過ごしください。

放射35号線を考える会 代表 神津真久